



## 集団療法的相談 活動がひろがる

長岡市コーヒーブレイクの会  
報告を聞いた

鈴木よし子

八月二十五日～二十七日の三日間、聖籠村で第41回社会教育研究全国集会が開かれました。

集会テーマは『社会教育の力で、地球を地域が結ぶ』時代を切り拓こう』でした。分科会での多岐にわたるテーマがしめすように、学校教育という限られた視座で子育て・教育、人間の発達をみるのではなく、それを人類の生存・発展に関わる地球規模の問題につながら、地域の現実を学習し、出てきた課題に共同の輪を広げてゆく視点がとても新鮮でした。

二日目の分科会は長岡市の「コーヒーブレイクの会」の活動報告を聞きました。

その報告をめぐって「カウンセリングを生

かした集団療法的相談活動を学んでゆく』ことの学習討議に参加しました。

当研究所の会員でもあるコーヒーブレイクの会の田口孝さんの報告はこの会の温かく、ふところの深さを感じさせるものでした。

不登校の子どもを抱える母親たちが自由に話し合える場をつくりたいとはじめたこの会は、やがてお父さんの会を生み出し、さらに豊かなカウンセリング・マインドをもったサポーターが子どもたちの集いフリースペースを支えていました。

田口さんの包容力あふれる自然体の居心地良い場所づくりの報告に、司会をされた青陵大学の先生が関心していました。

共通の悩みや課題を持つもの同士がお互いの話し合いの中で相互理解を深め、活動をひろげていく様子がわかりました。保母さん、学童指導員、保健婦それらのひとたちが全国津々浦々から集まったの熱気あふれる楽しい交流会でした。県内の小中学校の先生方の参加が極めて少なく残念でした。

(すずき よしこ・県民教育研究所)